6. 携帯電話の利用とマナー

携帯電話って本当に必要ですか？

社会に急速に普及している携帯電話は、それ自体たいへん利便性の高い道具です。しかし、その使用には、大きな問題が存在していることについて家庭で話し合いをし、子どもと一緒に携帯電話の必要性について考えてみましょう。

携帯電話によるさまざまなトラブル、いじめなどの入り口は、
“携帯電話を持たせる親”にもその原因があるのです。

小学生に携帯電話は必要ですか？ 持たせる必要が本当にあるのでしょうか？

・子どもの理屈に負けてはいませんか？
・子どもに携帯電話を使用させる目的は何でしょうか？
・持たせることで、生活の「安全」が本当に確保されるでしょうか？
・携帯電話が、大事な人間形成期に悪い影響を与えてはいませんか？

どんなトラブルがおきているのでしょうか？

＜交友関係で＞
・携帯電話を所有していることで、いつでも呼び出しが可能になる。
・メールや掲示板への書き込みによる誹謗中傷でいじめやトラブルがおこる。
・有害情報を入手したり、利用したりすることがある。

＜陥りやすい罠＞
・携帯電話から有害サイトに接続したために、ストーカー行為、嫌がらせ、恐喝、誘拐などのトラブルに巻き込まれることがある。
・接続サイトによっては不当な通信料の請求を受けるケースがある。

＜個人情報保護についての問題＞
・携帯電話を利用して勝手に他人の写真をメールで送付し、掲示板に無断で実名を書き込んだりする。
・個人情報をむやみに他人に教えてしまうことがある。
・有害サイトへのアクセスで、自分の情報が漏れ、事件に発展する危険がある。

家庭で話し合いをし、携帯電話を買うことになった場合には、携帯電話の使用に関するルールを決めておくことが必要です。子どもは未熟でルール違反をすることもあると考え、違反の場合の罰則（たとえば一定期間の携帯電話の使用禁止など）を決めておくこともお奨めします。

携帯電話使用のルール（例）

1．自宅内では居間で使うこと
2．食事中や懇談中、深夜には使用しないこと
3．一定の金額以上は使わないこと
4．学校での使用については、学校のルールに従うこと
5．他人を傷つけるような使い方をしないこと
6．送信者不明のメールや知らない者からのメールが来た場合は、速やかに親に報告すること
7．ルール違反や携帯電話の使用によって生活に支障が生じている場合には、携帯電話の利用を停止すること

もし、携帯電話を買い与えるなら、家庭内で話し合い、少なくとも上記のようなルールを決めることが必要でしょう。

そして、携帯電話については、何かあるごとに家庭で話し合う機会を設けることが重要です。頻繁に話し合うことによって、親が子どものことを大切に思っていることを示し、信頼関係を維持しながら問題解決にあたれるようにするのです。携帯電話を買うことは、携帯電話に関する問題のゴールでなくスタートですから、あらためて家庭内でのコミュニケーションを家族みんなで見直してほしいと思います。

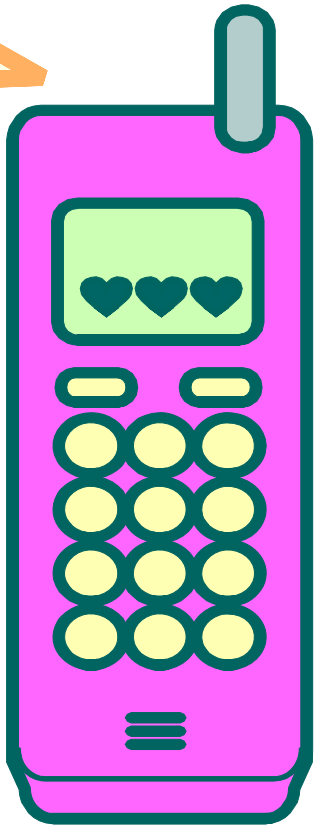
＜参考文献＞　藤川大祐　「ケータイ世界の子どもたち」　講談社現代新書　2008.5

我が家の約束

1．

2．

3．

4．

5．